

職場復帰支援におけるキャリア再形成支援の実態調査 その1

ー医療機関、地域センターへのアンケート調査からの一考察ー

○齋藤 友美枝（障害者職業総合センター 主任研究員）

知名 青子・八木 繁美・浅賀 英彦・宮澤 史穂・堂井 康宏（障害者職業総合センター）

1 はじめに

「職場復帰支援におけるキャリア再形成に関する調査研究」では、リワーク支援等を活用して職場復帰した社員に対する復職過程におけるキャリア再形成支援に関する支援機関や企業の取組と、それらの取組に対する職場復帰した社員の受け止め方や「働き方や仕事に対する本人の考え方や価値観」の変化を調査することにより、職場復帰した社員のキャリア再形成に影響を与えた要因を明らかにすることを目的としている。

本研究ではその一環として、リワークを実施している医療機関と、リワーク支援や職業準備支援を実施している地域障害者職業センター（以下「地域センター」という。）に対して、復職支援の実態とその経過において生じた利用者の「働き方や仕事に対する本人の考え方や価値観」の変化について把握することを目的としたアンケート調査を実施した。

本発表ではそのアンケート調査の結果から、医療機関と地域センターの復職支援の特徴について報告する。

2 医療機関と地域センターに対するアンケート調査

(1) 目的

気分障害や高次脳機能障害等により休職している方に対して医療機関及び地域センターが実施する復職支援の実態とその経過において生じた「利用者の「働き方や仕事に対する本人の考え方や価値観」の変化」（以下「キャリアの見つめ直し」という。）に関する支援者の認識について把握することを目的とした。

(2) 調査対象

一般社団法人日本うつ病リワーク協会に所属する医療機関（195機関）。回収数69機関（回収率35.4%）。

地域センター（多摩支所を含む）48所。回収数48所（回収率100%）。

(3) 調査方法

医療機関には、調査依頼文書を郵送し、Webフォーム（クリエイティブサーベイ）にて任意の復職支援担当者へ回答を求めた。地域センターにはイントラネット上のグループウェア（Desknet'sNEO）のアンケート機能を活用し、回答を求めた。

(4) 調査期間

実施期間は令和5年9月初旬から10月中旬までの概ね1か月間であった。

3 結果と考察

(1) 復職支援の実施対象

復職支援の対象とした患者の疾患名・障害名を尋ねた（複数回答）。調査票では主治医の意見書の様式における障害種類（気分障害、統合失調症、てんかん、発達障害、その他）にて回答を求めたものの、医学的診断名による詳細な回答が多数あったことから、回答内訳はICD-10コードに沿って整理した（表1）。

医療機関の内訳をみると、気分障害の患者を支援する機関が最も多く68機関（98.6%）、発達障害のある患者を支援する機関は48機関（69.6%）であった。また、本調査研究の対象障害のひとつである高次脳機能障害の患者を支援する機関は1機関（1.4%）であった。

次に地域センターの内訳をみると、気分障害の利用者を支援したセンターは48センター（100.0%）、発達障害の利用者を支援したセンターは35センター（72.9%）、統合失調症の利用者を支援したセンターは29センター（60.4%）、高次脳機能障害の利用者を支援したセンターは21センター（43.8%）であった。

表1 復職支援の対象となった疾患・障害

ICDコード、障害名	医療機関数	%	地域センター数	%
F1.精神作用物質使用	3	4.3%	3	6.3%
F2.統合失調症	24	34.8%	29	60.4%
F3.気分障害（うつ病、双極性障害）	68	98.6%	48	100.0%
F4.不安障害	7	10.1%	10	20.8%
F4.強迫性障害	2	2.9%	4	8.3%
F4.適応障害	10	14.5%	16	33.3%
F4.解離性障害	0	1.4%	1	2.1%
F4.身体表現性障害	0	1.4%	4	8.3%
F5.摂食障害	3	4.3%	1	2.1%
F6.人格障害	2	2.9%	0	0.0%
G4.てんかん	1	1.4%	4	8.3%
F8.発達障害	48	69.6%	35	72.9%
高次脳機能障害	1	1.4%	21	43.8%
睡眠障害	0	0.0%	2	4.2%
自律神経系の障害	0	0.0%	2	4.2%
身体障害	0	0.0%	1	2.1%

(2) 復職支援での実施メニュー

医療機関において復職支援の対象となった事例（1機関最大2事例）について、「キャリアの見つめ直し」に影響を与えたと支援者が認識した支援の状況を尋ねた。事例について記載があった機関は68機関（回答率98.6%）であった。事例数は精神疾患事例については85事例、発達障害については18事例、計103事例となった。

表2には障害区分別でみた医療機関の復職支援メニュー毎の「キャリア見つめ直し」への影響について、実数と割合を示した。

表2 医療機関支援の「キャリアの見つめ直し」への影響

復職支援メニュー	精神障害 n=85		発達障害 n=18	
	影響あり	割合	影響あり	割合
疾病理解支援	64	75.3%	10	55.6%
コミュニケーション支援	39	45.9%	6	33.3%
自己理解支援	77	90.6%	18	100.0%
作業能力支援	17	20.0%	5	27.8%
モチベーション支援	43	50.6%	9	50.0%
リラクゼーション支援	16	18.8%	2	11.1%
基礎体力支援	11	12.9%	0	0.0%
感情表現支援	16	18.8%	3	16.7%
その他	4	4.7%	1	5.6%

地域センターで復職支援の対象となった事例（1施設最大3事例）について、「キャリアの見つめ直し」に影響を与えたと支援者が認識した支援の状況を尋ねた。事例について記載があったセンターは45センター（回答率93.8%）であった。事例数は精神障害が67事例、発達障害については12事例、高次脳機能障害については11事例、計90事例となった。

表3には障害区分別でみた医療機関の復職支援メニュー毎の「キャリア見つめ直し」への影響について、実数と割合を示した。

表3 地域センター支援の「キャリアの見つめ直し」への影響

復職支援メニュー	精神 n=67		発達 n=12		高次脳 n=11	
	影響あり	割合	影響あり	割合	影響あり	割合
基礎体力支援	18	26.9%	2	16.7%	3	27.3%
作業遂行支援	10	14.9%	7	58.3%	10	90.9%
対人技能支援	19	28.4%	4	33.3%	0	0.0%
障害特性支援	44	65.7%	9	75.0%	7	63.6%
企業連絡支援	18	26.9%	5	41.7%	3	27.3%
医療連絡支援	7	10.4%	2	16.7%	0	0.0%
キャリア支援	51	76.1%	6	50.0%	2	18.2%
新たな職務支援	3	4.5%	1	8.3%	2	18.2%
企業支援	7	10.4%	3	25.0%	5	45.5%
その他	5	7.5%	3	25.0%	0	0.0%

医療機関で行われるリワークは、再休職予防を目標とした病気の回復と安定を目指した治療であり、地域センターで行われているリワーク支援は休職者の職場復帰と職場適応、雇用している事業所の支援を行う職業リハビリテーションプログラムである¹⁾とされている。

医療機関の支援メニューである「自己理解支援」は認知行動療法やマインドフルネス等のプログラムを通して行われている²⁾。また、「疾病理解支援」は、心理教育等、セルフケアや再発予防など症状自己管理のための支援である。いずれも精神科治療や再休職予防という医療機関で行われるリワークの目的に沿ったメニューである。

地域センターの「キャリア支援」で実施されるキャリア

講習は①自分を知る②自分を取り巻く環境を知る③キャリアプランを作成することを目的とした講座で構成されており³⁾、自身の働き方を再検討する支援である。また、「障害特性支援」は、障害特性の理解、ストレス場面での体調管理、疲労のマネジメント等の支援である。

本人から事業所への連絡や調整に関する「企業連絡支援」や新たな職務に対応するための「新たな職務支援」なども含めて、地域センターの支援メニューは職場適応や事業所との調整を視野に入れたものとなっている。

4 今後の課題

医療機関においては精神障害の事例の90%、発達障害の事例の100%で、行動の振り返り、自己理解、内省などの自己洞察のための「自己理解支援」が「影響あり」の支援として選択されていた。

地域センターでは、精神障害の事例の76%で、キャリアプランの再構築のための「キャリア支援」が、発達障害の事例の75%で「障害特性支援」が選択されていた。

また、高次脳機能障害の事例の90%で「作業遂行支援」が選択されていた。「作業遂行支援」は簡易作業、PC作業などの遂行能力や集中力を回復、向上させたり、補完手段を獲得させたりするための支援である。

医療機関も地域センターもほぼ全ての復職支援メニューに「影響あり」の事例がある。「影響あり」の支援やその組み合わせは多様である。

アンケート調査で収集した事例を分析し、事例の抽出条件の整理を行ってヒアリング調査を実施する医療機関、地域センターをそれぞれ選定した。

アンケート調査で把握された内容は「キャリアの見つめ直し」に影響した復職支援だが、「キャリアの見つめ直し」に影響を与えた支援や働きかけが何だったのかを具体的に聞き取るため、選定した復職支援実施機関にヒアリング調査⁴⁾を実施した。

【参考文献】

- 1) 五十嵐良雄、『リワークプログラムの現状と課題』、『日本労働研究雑誌No695/June2018』, p. 62-70
- 2) 障害者職業総合センター、『職場復帰支援の実態等に関する調査研究』, 調査研究報告書No156 (2021), p. 17-23
- 3) 障害者職業総合センター職業センター、『ジョブデザイン・サポートプログラム気分障害等の精神疾患で休職中の方のための仕事の取り組み方と働き方のセルフマネジメント支援』, 支援マニュアルNo23 (2023), p. 17
- 4) 知名青子・齋藤友美枝・八木繁美・宮澤史穂・浅賀英彦・堂井康宏 (2024): 職場復帰支援におけるキャリア再形成支援の実態調査その2ー医療機関、EAP 機関、地域センターヒアリング調査からの一考察ー, 第32回職業リハビリテーション研究・実践発表会論文集, p. 182-183